

令和 3 年 2 月 1 7 日



<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

協会けんぽ(全国健康保険協会)は、主に中小企業の従業員とその家族が加入する公的医療保険の保険者です。兵庫支部では、約 150 万人、兵庫県の人口の約 1/4 が加入者となっています。協会けんぽでは健診や保健指導など健康づくりの推進や医療費適正化の取り組みを進めております。

レセプトデータによる医療費分析結果 ～働き世代の健康が危ない！～

この度、生活習慣病^{*}医療費の実態把握として、協会けんぽ兵庫支部加入者の 2014 年度から 2019 年度のレセプトデータ等による分析を行いました。内容は 16 歳から 74 歳までの働き世代の被保険者(主に事業主・従業員)約90万人を対象とし、入院・入院外(調剤含む)、年齢階級別に生活習慣病医療費とそれ以外の医療費を比較しました。

【分析結果のポイント】

- 2014 年度以降、40 歳未満と比べ 40 歳以上の被保険者数の伸び増加が大きい。
- 2019 年度の医療費総額(入院・入院外)1,487 億円のうち、約 38%(570 億円)が生活習慣病医療費であった。診療種別で見ると、入院で約 45%(204 億円)、入院外で約 39%(366 億円)が生活習慣病医療費であった。
- 年齢階級別一人当たり医療費では、入院・入院外ともに 40 歳を超えると生活習慣病医療費が占める割合が増加し、60 歳以上では 50%以上となった。

40 歳以上の被保険者数の増加は、医療費増加の勢いを加速させ、健康保険料率(令和 3 年度の兵庫支部:10.24%)のさらなる上昇等、加入者の皆様の負担増が予想されます。

医療費の適正化のためには 40 歳以上で急増する生活習慣病医療費を抑制が必須です。生活習慣病は名前の通り生活習慣の改善により発症を予防することができる病気ですので、40 歳以上の対策はもちろん、より早期(40 歳未満)の段階での生活習慣の改善も大切です。

働き世代の生活習慣病医療費の実態を広く発信することで、兵庫県全体の健康意識の醸成に繋がればと思っておりますので、各種報道等で取り扱っていただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

〒651-8512

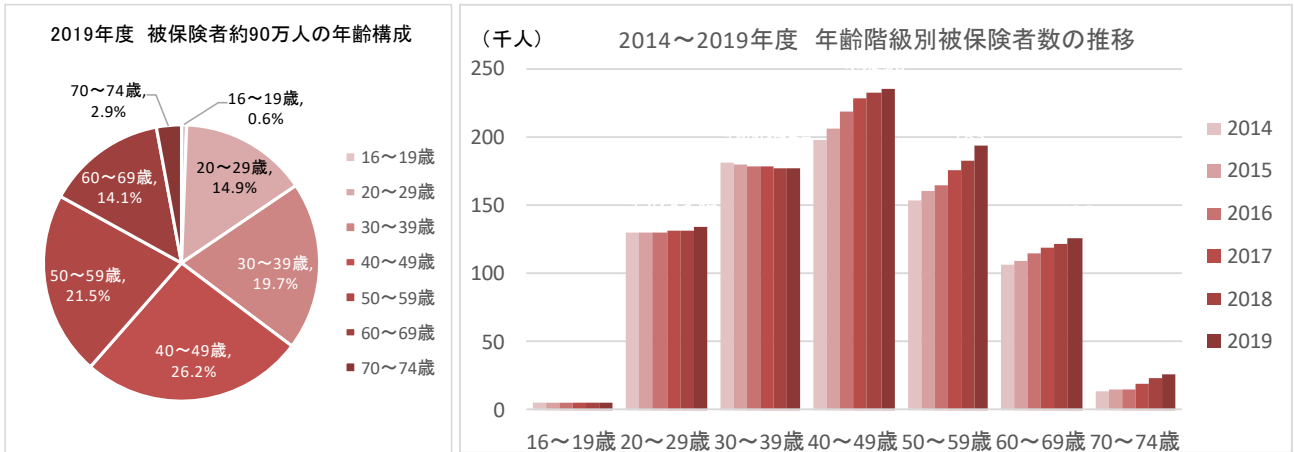
神戸市中央区磯上通 7-1-5 三宮プラザ EAST

全国健康保険協会兵庫支部 担当 : 企画グループ 山口

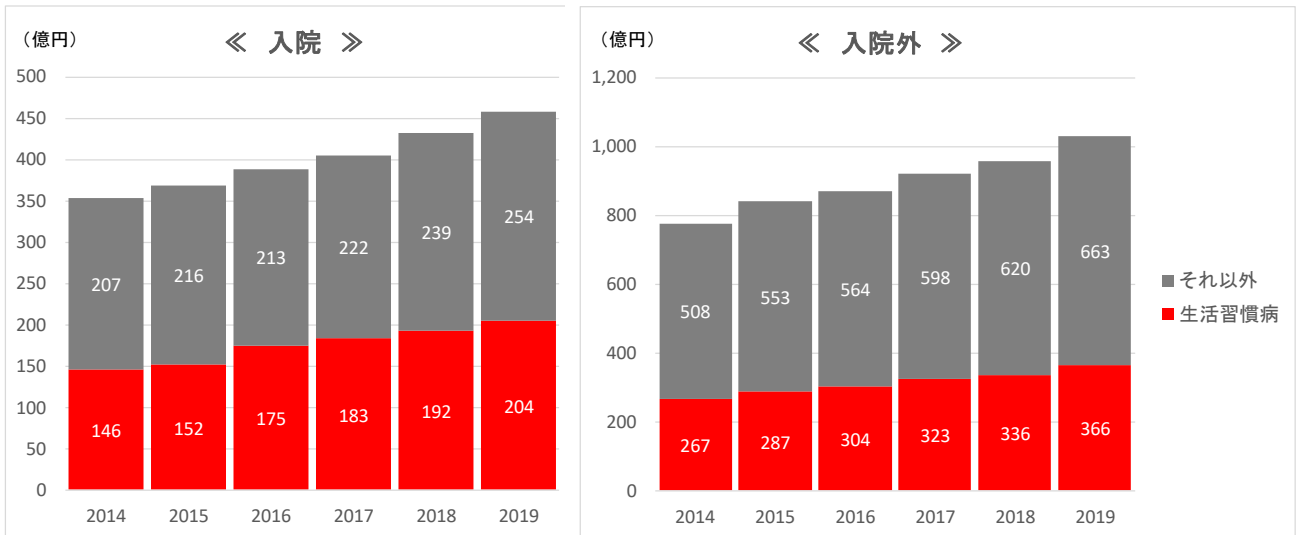
TEL:078-252-8701(音声案内 5 番)

【分析結果】

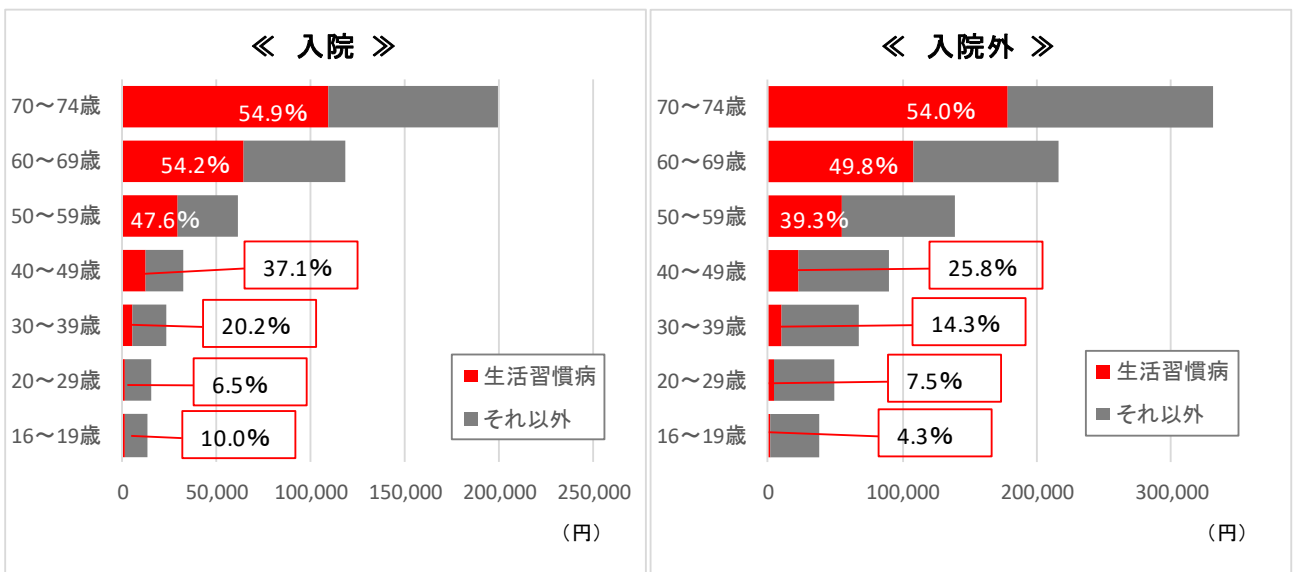
1. 【参考】2014～2019年度 兵庫支部被保険者数の推移



2. 2014～2019年度 医療費総額の推移 (生活習慣病医療費とそれ以外)



3. 2019年度 年齢階級別一人当たり医療費 (生活習慣病医療費とそれ以外)



※生活習慣病とは、以下の傷病名コードが記載されたレセプトを集計したもの。

◎新生物(白血病、良性新生物を除く)、◎内分泌・栄養及び代謝疾患(糖尿病、脂質異常症、その他)、◎循環器系の疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患、動脈硬化(症))、◎呼吸器系の疾患(慢性閉塞性肺疾患)